

平成23年度 第3回 経営協議会議事要録

日 時 平成23年6月13日（月）14：00～15：45

場 所 事務局第1会議室

出席者 池田学長，稲垣委員，上塚委員，上月委員，清水委員，友末委員，野口委員，谷島委員，山本委員，田代理事，神永理事，山本理事，堀理學部長，太田農學部長，総務部長

欠席者 鬼澤委員，土肥委員，佐々木人文学部長（渋谷副学部長），尾崎教育学部長（木村副学部長），友田工学部長

陪席者 影山理事，矢口監事，田中副学長，三村学長特別補佐，軽部学長特別補佐，横沢学長特別補佐，鎌田学長特別補佐，財務部長，学務部長，学術企画部長，総務課長，労務課長，監査主幹，財務課長，施設課長，学務課長

議 題

・審議事項

- 1 平成22事業年度に係る業務の実績に関する報告書について
- 2 平成22事業年度に係る業務の実績に関する自己点検評価書について
- 3 平成22事業年度財務諸表等について
- 4 平成24年度概算要求について
- 5 その他

・討議事項

- 1 東日本大震災に関する本学の対応について
- 2 その他

・報告事項

- 1 第1期中期目標期間の業務の実績に関する評価結果について
- 2 メール審議結果について
- 3 その他

配付資料

- 資料 1 : 平成22事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）

- 資料 2 : 平成 2 2 事業年度に係る業務の実績に関する自己点検評価書 (案)
資料 3 : 平成 2 2 事業年度財務諸表等 (案)
資料 4 : 平成 2 4 年度特別経費重点要求事項 (案)
資料 5 : 「東日本大震災」に関する本学の対応
資料 6 : 第 1 期中期目標期間の業務の実績に関する評価結果
資料 7 : メール審議結果

参考資料

- ・ 経営協議会委員名簿
- ・ 国立大学法人茨城大学経営協議会規則
- ・ 平成 2 3 年度茨城大学経営協議会開催予定
- ・ 知的好奇心をもって挑戦しよう (茨城大学入学案内2012)

議 事 概 要

議事に先立ち、学長から、このたびの東日本大震災の影響により、平成 2 3 年 3 月の経営協議会を中止にしたことに伴い、メール審議をお願いすることになってしまったこと、さらには、新年度に入ってから平成 2 3 年度年度計画について及び政府の第 1 次補正予算成立に伴い、急遽メール審議にご協力いただいたことについての謝辞があった。

続いて、学長から、平成 2 3 年 4 月 1 日付けで就任した、軽部学長特別補佐の紹介があり、さらに、山本理事から、平成 2 3 年 4 月 1 日付け事務系幹部職員の人事異動に伴う新任者の紹介があった後、学長から、鈴木前総務部長の後任の経営協議会委員に松田総務部長を指名したことについて報告があった。

I 議事要録の確認

学長から、平成 2 2 年度第 5 回、平成 2 3 年度第 1 回、第 2 回の経営協議会については、メールでの審議とさせていただいたため、特に議事要録は作成せず、今回、報告事項とさせていただきたい旨提案があり、了承された。

II 審議事項

1 平成 2 2 事業年度に係る業務の実績に関する報告書について

学長から、平成 2 3 年 6 月 3 0 日までに国立大学法人評価委員会に提出する平成 2 2 事業年度に係る業務の実績に関する報告書について審議願いたい旨提案があり、さらに、横沢評価室長から、資料 1 に基づき内容について補足説明

があり、審議の結果、提案のとおり了承された。

なお、国立大学法人評価委員会に提出するまでに文言等の修正の必要が生じた場合は、学長に一任することが併せて了承された。

委員から出された主な意見は次のとおり。

○大学にとって教育と研究は重要な柱であると思うが、地域連携や社会貢献について、第二期中期計画期間においては、どのように展開していくのか伺いたい。

○地方公共団体としても、受け止める側として、大学への要望について真剣に考えていきたい。大学においても、地域貢献に対する教員の評価についてご検討いただきたい。

2 平成22事業年度に係る業務の実績に関する自己点検評価書について

学長から、平成22事業年度に係る業務の実績に関する自己点検評価書について審議願いたい旨提案があり、さらに、横沢評価室長から、資料2に基づき内容について補足説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。

なお、自己点検評価書は国立大学法人評価委員会に提出するものではなく、毎年行われる評価ヒアリングや第二期中期目標期間の3年終了時（平成25年度）に実施される平成24年度評価、中期目標期間終了時評価の基礎資料とすることから、8月の完成までに文言等の修正の必要が生じた場合は、学長に一任することが併せて了承された。

3 平成22事業年度財務諸表等について

学長から、平成22事業年度財務諸表等について審議願いたい旨提案があり、さらに、山本理事から、資料3に基づき内容について補足説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。

なお、財務諸表等は、文部科学大臣に提出までに文言等の修正の必要が生じた場合は、学長に一任することが併せて了承された。

委員から出された主な意見は次のとおり。

○ 運営費交付金の削減は、大学の教育・研究に影響は出ていないか伺いたい。

○ 運営費交付金の削減は、外部資金などで補っていくしかないと思われるが、業務費において、教育・研究や地域貢献の部分が縮小することがないよう検討願いたい。必要があれば連携していきたい。

4 平成24年度概算要求について

学長から、平成24年度概算要求について審議願いたい旨提案があり、さらに、山本理事から、資料4に基づき内容について補足説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。

Ⅲ 討議事項

1 東日本大震災に関する本学の対応について

学長から、東日本大震災に関する本学の対応について意見を伺いたい旨提案があり、鎌田学長特別補佐から、資料5に基づき内容について説明の後、学長からも補足説明があり、意見交換が行われた。

委員から出された主な意見は次のとおり。

○ 次の4点について伺いたい。

- ・建物・設備の被害が大きいようであるが復旧の見通しについて。
- ・六角堂の再建見通しと復興基金の状況について。
- ・災害義援金の状況及び拠出先について。
- ・震災復興に係る地域社会から見た大学への期待とは、知的財産や社会貢献活動など、地域に対しリーダーシップを発揮し積極的に情報を発信することと思われるが、具体的対応策があれば伺いたい。

○ 世間では、原子力イコール悪であるかのような考えが定着しつつあるが、原子力技術は、国際社会において必要ではないかと考える。今後、原子力技術の開発や原子力に対する正しい考え方を積極的に発信していただきたい。併せて再生可能エネルギー開発についても積極的に取り組んでいただきたい。学生ボランティアについては、社会における貴重な経験であり、単位化について検討していただきたい。

Ⅳ 報告事項

学長から、事前資料送付により報告を行った2件について、質問の有無について確認を行った結果、特に質問等はなかった。

○ その他

(1) 経営協議会会議資料の公開について

学長から、経営協議会会議資料の公開について、確認があった。

(2) 次回経営協議会開催日 10月17日(月) 14時00分

学長から、次回開催までの間に、第二次補正予算などにより審議をお願いする場合、メール審議にご協力いただきたい旨提案があり、了承された。